

## 晩秋は乾燥に注意

秋が深まり、ベントグリーンの生育が安定してくると、乾燥に対して、意識が薄れてしまいがちです。

しかし、晩秋の乾燥は、夏のように枯れることはありませんが、生育に大きく影響するので注意しましょう。

### ◎晩秋は乾燥と温度低下に注意

秋は、空気が乾燥し乾いた風によって、葉からの蒸散が多くなり芝が乾燥しやすくなります。それにより、生長が悪くなり下葉の黄化も目立ってきます。

さらに、蒸散によって温度も奪うために芝や土壌の温度も低くなります。

### ◎灌水とカリショット

晩秋は、生長が緩慢となり水分吸収が低下するため、土壌に水分はあるのに芝は乾いているという状態になります。

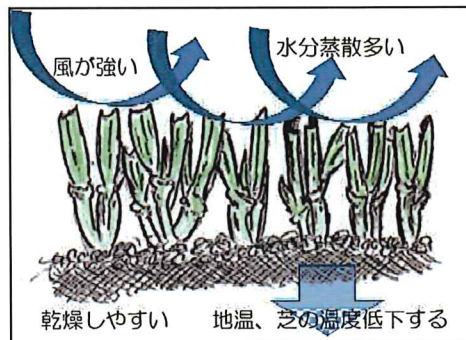
このような時は、土壌ではなく、葉に水を与える程度の灌水が必要です。

また、水分吸収を良くするにはカリ肥料が効果的です。

カリショット（1-4-18）を3~4g/m<sup>2</sup>施用すると、カリの効果で水分吸収の促進、耐寒性が向上します。

もちろん、マイクロカスタム（0-15-15）でも同じ効果があります。マイクロカスタムを施用される場合は、10~20 g/m<sup>2</sup>施用して下さい。

また、本年度新発売し好評をいただいている「AquaTurf うるみたす」も、まだまだ出番があります。秋・冬の乾燥予防に1cc/m<sup>2</sup>の施用をお勧めします。



### 【マイペースコラム：一思一筆】

（個人的に思ったことを、不定期に書きたいと思います。）

近年、春・秋が非常に短くなって四季→二季となっている地域が多いのではないのでしょうか？今年も各地で残暑なのか夏なのか分からない日が長く続きました。

中国地区や、九州地区のベントグリーンを2つ持っているゴルフ場では、サブグリーンを高麗グリーンに転換するコースが複数ありました。

ベントグラスから高麗芝にすることで、夏越しは楽になるかも知れません。しかし、高麗芝は軸刈りへの抵抗性も低く、播種も出来ず、生育期間も限られるため失敗は許されません。また、管理を怠るといざという時、使用に耐えないグリーンとなってしまいます。後々の生育トラブルを軽減するため、転換前の床土にしっかり土壌改良材や肥料を投入してもらうこととしました。



公式 YouTubeチャンネル（肥料の寺子屋）「AquaTurf うるみたす」の動画アップしました



多木化学（株）アグリサービス室

西原 亮一